

伊予地区広域斎場聖浄苑改築事業 募集要項等に関する質問回答(第2回)

No.	資料名	該当箇所						質問	回答	
		頁	章	項			タイトル			
1	募集要項	19	第6	1			立地条件	提案及び今後の設計にあたり、対象敷地をドローンにより空撮することは可能でしょうか。	ドローンによる空撮撮影は可能です。ただし、組合と事前調整が必要となります。また、松山空港高さ制限(航空法)に抵触しないようにしてください。	
2	要求水準書	6	第2	4	(1)		新斎場の施設規模について	要求水準書で、延床面積は1,300㎡程度で上限の規定はないと読み取れる一方、様式集のチェックリストでは、「延床面積が、1,300㎡-10%の範囲となっている」との記述があります。延床面積は1,300㎡-10%以上と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。基礎審査チェックリストの誤りですので、要求水準書を正としてください。(様式集の該当部分を修正します。)	
3	要求水準書	15	第3	3	(2)		職員数について	事務職員及び火葬従事者の職員数をそれぞれ御指示下さい。	現段階では未定です。事務職員3名程度、火葬従事者職員4名程度と想定してしますが、本施設の機能及び規模を勘案し、事業者においても望ましい管理運営体制を考慮の上、ご提案ください。なお、事務室に隣接して、10名程度の打合せ等に使用する会議室(20㎡)を設置してください。(会議室の追加、更衣室・シャワー室等の面積指定の緩和など、要求水準書を修正します。)	
4	要求水準書	15	第3	3	(2)	表7	-	収骨台車置場 棺台車置場	弊社の柩、炉内台車兼用運搬車は、火葬炉前室内に収納出来るため、通常、収骨台車置場及び棺台車置場は必要有りません。従いまして、この2つの置き場は設けなくて良いでしょうか？	炉内台車兼用運搬車ごと、火葬炉前室に収納される設備として、運用管理上問題がない前提下、それぞれの置き場を設けない提案も可とします。
5	要求水準書	15	第3	3	(2)	表7	-	霊安室	霊安庫の使用頻度は、年間何件程度を想定されていますか。また、預かり期間は何日までを想定していますか。ご教示下さい。	昨年の利用件数が23件で、5年間の平均では年間14.8件の利用件数となっております。また、御遺体の預かり期間については、条例等で特に定めてはおりませんが、今日までの使用状況から判断すると、24時間以内の預かりが殆んどです。
6	要求水準書	17	第3	3	(4)	① ②		バスについて	施設利用者の駐車場について、マイクロバス用3台含むとありますが、中型バスあるいは大型バスでの施設利用はないと考えて宜しいでしょうか。	マイクロバスの利用が多い一方で、これまでの利用実績及びコロナ禍における配慮として、大型バス(2階建バス含む)での利用も想定されることから、大型バス2台分の駐車スペースとして計画してください。(要求水準書を修正します。)
7	要求水準書	17	第3	3	(4)	②		駐車場について	駐車場45台以上とありますが、そのうち運営管理用の駐車台数はいかほどになりますでしょうか。	運営管理用駐車台数は、最大7台とします。
8	要求水準書	18	第3	3	(4)	③		車庫棟の配置について	車庫棟を北側の飛地に建設することは可能でしょうか、御指示下さい。	車庫棟の機能及び動線、駐車台数が確保される前提下、提案していただくことは可能です。
9	要求水準書	23	第3	4	(1)	③	イ	炉内台車	炉内台車の数量は炉数と同数であり、付属品として予備台車保管用架台等必要なもの一式とありますが、炉内台車数量は4台と解釈して宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

No.	資料名	該当箇所					質問	回答		
		頁	章	項		タイトル				
10	要求水準書	25 32	第3	4	(1) (3)	③ ②	オ	ばいじん基準	集じん装置の設計出口含じん量は0.01g/Nm3以下であり、排ガス基準のばいじん基準値は0.03g/Nm3以下となっています。両方とも0.03g/Nm3以下が正しいと解釈して宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。0.03g/Nm3以下を正としてください。(要求水準書を修正します。)
11	要求水準書	27	第3	4	(1)	③	カ	集じん灰吸引装置	可動式の装置を2階機械室に設置し、ダストは1階灰処理室まで搬送・保管とありますが、残骨灰用と同様に処理装置を1階灰処理室に設置し、配管接続により集じん装置より自動で搬送することとしても宜しいでしょうか。	残骨灰と集じん灰が混在せず、適切に収集処理できる構造であれば、提案可能です。
12	要求水準書	27	第3	4	(1)	③	-	(集じん灰用)	「可動式」の真空掃除装置と有りますが、「固定式」で提案しても良いでしょうか？	提案可能です。残骨灰と集じん灰が混在せず、適切に収集処理できる設備としてください。
13	要求水準書	28 30	第3	4	(1)	④	アイ	運転管理	運転管理(運転・制御)は現場操作盤及び事務室で行うとありますが、事務室ではなく「監視・制御室」ではないでしょうか。	ご理解のとおりです。監視・制御室を正としてください。(要求水準書を修正します。)また、事務室においても火葬状況がわかるモニター設備の設置を求めていますので、ご確認ください。
14	要求水準書	29	第3	4	(1)	④	イ	火葬炉現場操作盤	「自己診断機能」に記載の項目は、事業者提案により変わるものと考えます。記載は一例を示すものであり、取り付けるセンサー等は事業者提案と解釈して宜しいでしょうか。	火葬炉の運転・稼動状況を適切に把握・管理でき、斎場の運営を円滑に行える設備システムをご提案いただく前提で、ご理解のとおりです。
15	要求水準書	30	第3	4	(1)	④	イ	中央監視制御盤	「運転状態表示器」に記載の項目は、事業者提案により変わるものと考えます。記載は一例を示すものであり、取り付けるセンサー等は事業者提案と解釈して宜しいでしょうか。	No.13の回答を参照してください。
16	要求水準書	30	第3	4	(1)	④	イ	中央監視制御盤	「案内放送機能」がありますが、これは作業員に点火準備完了、冷却完了等、炉の稼働状況を報知するためのものと解釈して宜しいでしょうか。	ご質問の内容も含め、案内表示・管理制御などの運営・支援システムとの連動も考慮した提案としてください。
17	要求水準書	31	第3	4	(2)	①	-	予約システム	1日の予約受付枠(時間割)について、ご教示下さい。また、年間の日・月別火葬件数、及び現斎場の集中時間帯について、ご教示ください。	火葬開始時間は10時とし、1炉3回転を限度とした1日最大件数10件とする予定です。昨年の火葬件数は1,172件5年間の平均火葬件数は1,138件となっております。月別で見ますと平均100件前後となっておりますが、冬場の時期は若干増加傾向が見られます。時間帯においては、12時から14時までが特に集中する傾向にあります。
18	要求水準書	31	第3	4	(2)	①	-	予約システム	待合室は火葬予約とセットで行われる予定でしょうか。または、待合室は別で予約選択する方式にされる予定でしょうか？ご教示ください。	現段階では未定です。施設予約及び利用のしやすさ、受付管理の効率性を考慮いただき、事業者において最適なシステムをご提案ください。